

行動計画改定の概要

●プロジェクト2年目(2019年)の成果

- ✓ 総輸出量は約44キロリットル(2018年31キロリットル。約42%増)
- ✓ 海外輸出を行った酒造所は21社(2018年22社)
- ✓ 輸出先国は28の国・地域(2018年25の国と地域)

●2020年の70キロリットルを達成するためには、今年1年間で約1.6倍増化させる必要がある。

●そのため、国内外の状況も踏まえつつ、これまでの「訪日外国人に対する視点」、「海外市場に対する視点」、「具体的な商流につなげるビジネスの視点」の3つの視点での取組の強化・深化を進めていく。

●会員の具体的な行動として、6分野68の支援事業を実施予定(2019年度6分野60)※

- (1)情報発信の強化:11事業
- (2)効果的な販路拡大・市場拡大:20事業
- (3)品質・技術の向上／人材育成:7事業
- (4)ブランド力の向上:14事業
- (5)輸出環境の整備:10事業
- (6)インバウンドとの連携:6事業

※再掲を含む

(参考)新規支援事業

(1)情報発信の強化

- ⑩海外事務所及び委託駐在員のネットワークを活用した泡盛情報の発信【(公財)沖縄県産業振興公社・沖縄県】

(2)効果的な販路拡大・市場拡大

- ③琉球泡盛の普及啓発施策【沖縄県酒造組合】
- ⑰琉球泡盛の国際的プロモーション【国税庁】

(3)品質・技術の向上／人材育成

(4)ブランド力の向上

- ①琉球泡盛ブランディング構築施策【沖縄県酒造組合・沖縄県】
- ④那覇市壺屋「やちむん通り祭り」タイアップ施策【沖縄県酒造組合】
- ⑬テロワール泡盛によるブランド力の向上【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局・沖縄県酒造組合】

(5)輸出環境の整備

- ⑦米国における焼酎の取扱いのレビュー【国税庁】
- ⑧米国における酒類のラベル承認手続の簡素化【国税庁】
- ⑩酒類の品目の例外表示の改正【国税庁】

(6)インバウンドとの連携